

記入例1 申述人が成人の場合

受付印

収入印紙 円
予納郵便切手 円

相 続 放 棄 申 述 書

(この欄に収入印紙 800 円分を貼ってください。)

印 紙

(貼った印紙に押印しないでください。)

準口頭 関連事件番号 平成・令和 年(家) 第 号

家庭裁判所 御中
令和 年 月 日

申 述 人
〔未成年者など
の場合は法定
代理人
の記名押印〕
甲 野 一 郎

添付書類 (同じ書類は1通で足ります。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)
☒ 戸籍 (除籍・改製原戸籍) 謄本 (全部事項証明書) 合計 2 通
☒ 被相続人の住民票除票又は戸籍附票
☐

申 述 人	本 籍 (国 籍)	都 道 府 県 市 町 村 番 地		
	住 所	〒 市 - 区 町 丁目 番 号 号 (方)		
	フリガナ氏 名	甲 野 一 郎	昭和 年 月 日 生 平成 令和 (歳)	職 業 会 社 員
被 相 続 人	被相続人との関係	※ ① 子 2 孫 3 配偶者 4 直系尊属 (父母・祖父母) 5 兄弟姉妹 6 おいめい 7 その他 ()		
	法定代理人等	※ 1 親権者 住 所 〒 電話 () 2 後見人 (方) 3 フリガナ氏 名 フリガナ氏 名		
被 相 続 人	本 籍 (国 籍)	都 道 府 県 市 町 村 番 地		
	最 後 の 住 所	都 道 府 県 市 町 村 番 地		死亡当時の 職 業 無 職
	フリガナ氏 名	甲 野 乙 太 郎		平成 令和 年 月 日 死 亡

平日の日に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

亡くなった人のことについて記入してください。

申 述 の 趣 旨	
相 続 の 放 棄 を す る 。	

申 述 の 理 由	
※ 相続の開始を知った日……令和 年 月 日 ① 被相続人死亡の当日 3 先順位者の相続放棄を知った日 2 死亡の通知をうけた日 4 その他 ()	
放 棄 の 理 由	相 続 財 産 の 概 略
※ 1 被相続人から生前に贈与を受けている。 2 生活が安定している。 3 遺産が少ない。 4 遺産を分散させたくない。 ⑤ 債務超過のため。 6 その他 []	資 産 農 地……約……平方メートル 現 金 預貯金……約……万円 山 林……約……平方メートル 有価証券……約 100 万円 宅 地……約……平方メートル 建 物……約 20 平方メートル 負 債……約 1,000 万円

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、申述の理由欄の4、放棄の理由欄の6を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

1～5に該当しないときはここに記入してください。

亡くなった人が残した財産(負債を含む。)について記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、被相続人との関係欄の7、法定代理人等欄の3を選んだ場合には、具体的に記入してください。